

貫井の風

令和元年度

臨時号

練馬区立貫井中学校 学校だより

令和元年度・学校評価に関わる

保護者・生徒・教員アンケート結果

学校評価に関わるアンケートのご協力、大変ありがとうございました。

いただいたアンケートを分析し、分析結果に対して学校評議員の方々から
ご意見をいただきましたので、令和2年度の教育活動にいかしていきます。

今年度のアンケート数は生徒（356）、保護者（278）、教員（22）で
した。

*以下の数値は各質問項目の、④とても思うと、③思うを合わせて%で表した数値です。

また、分析、今後の方向性や改善策を記載しています。

(1)～(5) 学力向上

(1) 落ち着いた学習環境のなかで、意欲的に授業を受けていると思いますか。

生徒	保護者	教員
85%	72%	71%

(2) 基礎的・基本的な学習内容が身に付けてきていると思いますか。

生徒	保護者	教員
83%	74%	60%

(3) 少人数や習熟度別指導（数学・英語）が効果的になされていると思いますか。

生徒	保護者	教員
80%	63%	52%

(4) 総合的な学習の時間等で、課題に対して自分で考え、判断して物事を解決しようとする態度が育ってきていると思いますか。

生徒	保護者	教員
91%	68%	74%

(5) 朝の読書や学校図書館の利用により、読書の習慣が身についていると思いますか。

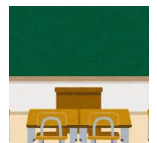
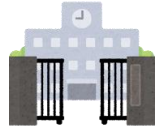
生徒	保護者	教員
67%	45%	78%

○学力向上について

・生徒は概ね落ち着いた雰囲気の中で学習に取り組み、基礎的・基本的な学習内容を身に付けていると言えます。ただ、少人数授業（数学・英語）における成果や効果については数値的なものが伝えられていないため低い数値となっているかと考えます。

・読書は朝読書、各学期一度の読書月間などの取り組みを通して読書啓発を行っています。また、図書館支援員より図書の実態を踏まえた図書の紹介等を行っています。今後も各家庭で読書を話題にして、ぜひ、本を読むことの大切さを考えて頂きたい。

・各教科で学力補充、質問対応、基礎・基本の習得について日々の教科指導を通じて各教科の特色を踏まえた対応をしています。また、学校地域連携事業として学習教室(年6回、約20日間)も定着しています。今後も同様の取組を継続していきます。



・多くの生徒に望むことは家庭学習習慣の定着と自ら学習し、自ら質問するなどの自学自習の姿勢。学校は日常の教員の声かけとともに、生徒が先生に質問しやすい、聞きやすい雰囲気づくりに努めます。各家庭の学習実態の把握と声かけもほしいです。



健全育成 (6) ~ (10)

(6) 自分の子どもが楽しく学校生活を送っていると思いますか。

生徒	保護者	教員
92%	90%	100%

(7) 道徳の授業を中心に、生命の大切さや思いやりの心が育ってきていると思いますか。

生徒	保護者	教員
84%	78%	86%

(8) 悩みや心配事についてお子さんが相談しやすい環境だと思えますか。

生徒	保護者	教員
65%	51%	87%

(9) 不登校やいじめの防止・いじめの早期発見に向けて取り組んでいると思えますか。

生徒	保護者	教員
69%	46%	77%

(10) 学校の施設・設備や校舎内は、安全できれいだと思いますか。

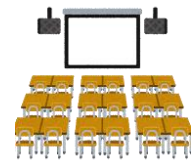
生徒	保護者	教員
80%	82%	96%

○健全育成について

・多くの生徒が学校生活を楽しいと感じている実態が、保護者や教員の数値からもわかります。学校が楽しいと感じていることは大変嬉しいことです。

生徒たちは大きな声での挨拶等の生活習慣を身に付け、楽しく学校生活を送っています。また、命の大切さや思いやりの心、奉仕的な精神をもち、周囲ともやさしい気持ちで接しています。また、学校環境もほぼ良好と考えます。

しかし、悩み相談、いじめ防止等には生徒・保護者と教員の数値には開きがあります。この事実をしっかり受け止めたい。今後も学校がやるべきこと、やらなければならないこと、各家庭がやるべきことを双方が先ずもってしっかりとやる必要があります。その上で、生徒の相談等には耳を傾け、力を注ぎ、同時に家庭との連絡や連携に努め、双方が力を合わせ、協力しながら対応することがベストと考えます。また、各家庭にお願いがあります。お子さんの学習のようすや実態を学校公開などでしっかりと参観してほしいこと、学校からのお知らせや連絡がしっかりと届いているのか確認をしてほしいことです。伝わっていると思っていることが、実は情報として届いていない。そうなるとうちと家庭の連携が上手く進まないことが出てきます。そうならないようご協力をお願いいたします。



キャリア教育 (11) ~ (17)

(11) 運動会や合唱コンクールなどの学校行事や、生徒会その他諸活動を通じて、生徒の主体的な態度が育まれていると思えますか。

生徒	保護者	教員
91%	92%	91%

(12) 進路学習(職業調べ)や職場体験学習、主権者教育(認知症サポーター養成講座、租税教室選挙啓発講座等)を通じて、自分の将来のことを考える態度が身に付いてきていると思いますか。

生徒	保護者	教員
81%	67%	82%

(13) 保護者と連携を密にしながら、個に応じた進路指導を行っていると思いますか。

生徒	保護者	教員
80%	58%	96%

(14) 礼儀や言葉遣い、挨拶が身に付いてきていると思いますか。

生徒	保護者	教員
92%	86%	91%

(15) 情報モラルや防災教育(宿泊防災訓練)、セーフティー教室を通して、規範意識や危機管理意識、社会性が身に付いてきていると思いますか。

生徒	保護者	教員
87%	75%	78%

(16) 部活動を通じて自己肯定感が向上していると思いますか。

生徒	保護者	教員
76%	74%	100%

(17) オリンピック・パラリンピック教育を通して、スポーツや健康への意識を高めるとともに、障がい者理解の促進がなされていると思いますか。

生徒	保護者	教員
88%	75%	96%

○キャリア教育について

・生徒は行事を含む学校生活のさまざまな場面で責任や役割を担い、自主的に判断し、行動する習慣や力が学年の進行とともに身に付け、あいさつや言葉遣いの成長にもその成果がしっかりと表れています。特に本校の伝統となっている運動会や合唱コンクール等の行事の取組は、生徒が成長、飛躍する舞台となり、それが自らの進路開拓にも活き、良い影響をもたらしていると考えます。



・キャリア教育・進路指導については、本年度貫井中学校の取組を体系化し、各学年に資料でお示しました。

学校ではキャリア教育としてどのようなことに取り組んでいるのか。生徒、保護者に3年間の学びのようすを見通せるようにする必要があったからです。しかし、体系化とその提示だけが、もちろん理解につながるわけではありません。各学年の発達段階に応じ、毎年の学校評価、反省を踏まえたプログラム内容の見直し、改善をしていくことが

大切です。また、そのプログラムを保護者や地域の方々と共有しながら今後何に取り組ませ、何を身に付けさせるのか、考えを交換していく必要があります。そのためにも、学年だよりや進路だより等で、学校より情報発信していくことが必要となります。

開かれた学校づくり（18）～（19）

（18）学校だよりや学年だより、学校ホームページなどを通じて学校生活のようすがわかりやすく伝えられていると思いますか。

生徒	保護者	教員
77%	86%	100%

（19）学校公開、道徳授業地区公開講座、保護者会、三者面談、PTA実行委員会等は学校と地域・保護者との理解を深め、交流する機会となっていると思いますか。

生徒	保護者	教員
80%	80%	77%

○開かれた学校づくり

・学校だより、学年だより、給食だより、保健だより、給食だより、学級通信、生活指導だより、図書だより、その他、そして学校ホームページ等で情報の提供は概ねできていると考えます。でも、中学校としての悩みは続きます。それは通常の学校公開日で、保護者の方々の集まりが少ないことです。



健全育成とも関連しますが、子どもたちの学校の授業でのようすをまずは見て頂きたいのです。その実態からお子さんの良いところや悩みなども見えてくることがあるはずで、そのために、学校を開き（学校公開）、たより等の情報提供をします。確かに多感な年齢の時だけに、親が授業を見に来る等は生徒の立場からすれば「嫌だ！」の一言で終わるかもしれません。それでも、年間8回の土曜授業公開、これを含む年3回、各学期一回の学校公開週間があります。そのような機会をぜひ活用して頂けたらと思います。イベント的な講演会があるときなどは、大勢の人が集まります。それ以外で、ふだんのお子さんの様子を見て頂けないでしょうか。結果的に保護者会や三者面談での話の捉え方も変わってくると思われれます。ぜひご協力頂きたいです。

（20）～（21）小中一貫教育

（20）児童・生徒の交流、行事の交流を通して、小中一貫教育が深められていると思いますか。

生徒	保護者	教員
72%	48%	68%

（21）小中一貫教育に関する情報が保護者や地域に適切に提供されていると思いますか。

生徒	保護者	教員
62%	43%	69%

○小中一貫教育について

・小中一貫教育に関する情報の提供は前年度に比較すると増えています。しかし、この取組は、小中学校間の児童と生徒、そして教員間の情報交換、交流が中心となる取組です。よくわからないのが率直な感覚だと思います。そのため今後もいろいろな機会（校区别協議会、部活動体験・見学、中学校への訪問・見学、合唱コンクールリハーサルの児童の見学、貫井中大好きアンケート結果）を捉えた情報提供を、保護者、地域の方々に確実にしていきたいです。

